

## 65歳以上の高齢者を対象とした 「高齢者基礎調査」の結果がまとまりました。

### 1. 調査概要

- (1) 調査目的 新潟県の高齢者に対する総合的な施策の推進を図るため、高齢者の生活実態、考え方、要望等を把握するため、3年に1度実施
- (2) 調査対象 県内に居住する満65歳以上の男女3,500人
- (3) 回収結果 有効回収数2,365（有効回収率67.6%）
- (4) 調査期間 令和7年8月8日～8月31日（基準日：8月1日）
- (5) 調査方法 郵送によるアンケート調査

### 2. 主な調査結果概要

- 必要な情報は「認知症の予防」がトップ  
健康管理のために必要な情報は、「認知症の予防」（31.2%）が最も高く、「介護予防サービス」（22.0%）、「寝たきりの予防方法」（16.1%）が続いた
- 外出の頻度は「毎日1回以上」がトップ  
外出の頻度について、「毎日1回以上」の割合が44.7%、「2～3日に1回程度」が31.8%、「1週間に1回程度」が13.3%、「ほとんど外出しない」が7.6%となった
- 心配ごとや悩みごとは「自分・家族の健康のこと」がトップ  
心配ごとや悩みごとは、「自分・家族の健康のこと」（51.3%）が最も高く、「寝たきりや、身体が不自由になり、介護が必要になること」（36.7%）が続いた
- 介護が必要になった場合の希望は「家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい」がトップ  
介護が必要になった場合の希望は「家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい」（25.2%）が最も高く、「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」（19.7%）、「特別用語老人ホームなどの施設で介護を受けたい」（16.5%）が続いた
- 認知症になった場合に必要なことは「相談窓口」と「医療機関」が上位  
自分や家族が認知症になった場合に必要なのは「悩みを聞いたり、相談にのってくれる相談窓口」（55.6%）が最も高く、「診断・治療をしてくれる医療機関」（55.1%）、「ショートステイやデイサービスなど、一時的にあずかってくれる施設」（34.7%）が続いた

詳細は別紙「概要版」をご覧ください。調査結果は、新潟県ホームページにも掲載しています。  
アドレス (<https://www.pref.niigata.lg.jp/kourei/r7kisotyousa.html>)

本件についてのお問い合わせ先  
高齢福祉保健課 〔担当〕大野、貝沼  
(直通) 025-280-5195 (内線) 2525